

平成 27 年 10 月 18 日（日） 光明台南校区 タウンミーティング 参加者 132 名

【市長との意見交換】

市民： 3 点だけ。光明台地域の高齢化問題について、40 年前から入居が始まり、開発が終わってからから 30 年近く経ち、夫婦 2 人か 1 人住まいがほとんどで、結婚したり、成人して出て行った子どもは帰ってくることもあまりない。最近空き家や売地が目立ち、宅建業者ののぼりがよく立っているが、入居がなくのぼりが倒れていることもある。市長から今後の空き家対策、高齢者問題について、なにかあれば教えていただきたい。

市長： 高齢化と空き家対策は、和泉市だけの問題ではなく、国においても空き家バンクという制度があり、今課題になっている。和泉市においても光明台、青葉台は 40 年以上前に開発され、結婚して出て行ったりされ、高齢化が進んでいる。これをどうするかは、行政として非常に難しい。空き家バンクもまた、不動産売買については事業主さんが入っているのが難しい。ただ家族が同居するや、あるいは近所に住むことを支援するという事は考えている。今後、他市の事例を参考にしていきたいと考えている。

市民： 今の市長のお話はあまりに相対的で、地域に住むものとしては、具体的に市長として、高齢化対策はこうだ、空き家はこうだという個人としてのお話はどうか。

市長： 正直、空き家は打つ手がないかと思っている。全国的に空き家が増えているが、空き家を埋めるとするのは新しく建てないことで、今あるところを活用していくということだが、その対策がむずかしい。

高齢化に関して、今和泉市では、高齢者世帯は 5500 世帯ほどあり、高齢者一人世帯は 4500 世帯ほどある。7 万世帯のうち 15 件に 1 件位が高齢者の世帯。そういう中で、地域で取り組んでいるのは、緑ヶ丘では地域の世話人の方が高齢者の方 3 人くらいとタクシーに相乗りして、一人千円以内で和泉中央まで買い物して帰ってくるという取り組みもある。

市民： もっと積極的な対応として、公団さんがもっている中層用地、相当空き数が増えている。あのゾーンをどちらかに入れて、老人向けの高層建物を建てて、安全で快適な生活できる、病気になっても対応できるような対策を立てるとか、調整池は機能していないので、あの空地の中にそういうことを検討していくと、もっと豊かな生活ができるのではと思うが。

市長： それは考えているが、たぶん光明台では難しいかと思う。今は、駅前に高齢者が集まってくる傾向にある。今までは引退したら自然のあるところに行って、余生を暮すというのがあったが、今は便利なところで集約される。国の施策としてはスマートエイジングシティがある。安心して暮らせるようにと和泉市はバリアフリーを進めていて、そこに都市計画を使い、宅地の容積率を上げてマンションを建てて、病院、スーパーが近くにあり、生活しやすい空間をつくることを考えている。スマ

ートエイジングシティとか、コンパクトエイジングシティなど、光明台の場合は、スーパー、病院があまり充実していなかったり、バリアフリーが十分でない。それをいたるところでやるのは難しいが、高齢化が進む中、検討していきたい一つの課題である。

市民： 光明台春木線の問題。スーパーサンエーの東側の南北に走る道路について、光明池よりが1号公園、この交差点から南みずき台前の交差点、この間約1キロある。この道路が近年、コストコ、ららぽーと、ナフコ等大型店が開発され、そのために岸和田和泉インターへの通行量もかなり多く、道路自体も全体的に痛んで来ている。一度調査していただきたい。部分的にではなく、とりあえず悪いところだけ直すならよいが、全線的に路盤から1回やり直していただきたい。

市長： 今計画しているところ。私も全体的に痛んできたと認識している。ただ地域整備を市全体的に伺っている中で、その中で優先順位をつけている。必ずやらないといけないとわかっているから、もう一度調査検討してお答えする。

市民： その問題については、どちらかという舗装直したとしても、いずれまた同じことの繰り返しでは。警察と協議して大型車両のある程度の台数制限とか。全面制限は難しいから、奇数番号とか段階的に規制していったらどうか。

市長： あの道路については、あの幅員の道路で大型規制というのは難しい。

市民： 3点目。めぐーるバスの見直しについて。光明池車庫から光明池駅までめぐーるバス100円であったが、近年車庫から和泉中央も地元の希望も入れて再考してもらったが利用率もあがっていないようだ。もう一回光明池駅への復活はできないかということと、隣の堺市では65歳以上は100円で乗り放題。和泉市でも考えていただけないか。せめてめぐーるだけでも安くできないか。

市長： おっしゃることはよくわかる。めぐーるについては、路線の状況をみて町会連合会、校区長に集まって頂いて、バスは10台。中には全く乗っていない区間もあり、その中で常にチェックしながら、見直しを21小学校校区の町会長でみていただいている。また必要であれば復活は可能かと思う。それと、めぐーるが走っているところは路線バスが走っていない。路線バスが走っているところはめぐーるは走っていない。そういうところも考慮してご利用いただいて、共生をはかろうということ。

これから高齢化社会を迎えるので、高齢者の運転は非常に危ないので、免許証を返納した方には高齢者バスを出すとか、南海バスはピタパなどカードが使用できるようになった。回数券では高齢者が乗ったのかカウントとかできなかったが、財源を踏まえて、高齢者がより活動しやすいようにしていきたい。

市民： めぐーるバスを利用しているが、以前は光明池駅まで行けたので、西1丁目まで歩いて行っていた。それでも、和泉中央にも行き光明池にも行けるといっているので利用していたが、今は光明池へは行かない。それが利用者の少ない一つの理由と思う。だから光明池も行き、和泉中央も利用し、というのは1番最高だが、和泉中央を和

泉市として生かすためには、めぐーるを光明池に行かないで、なるべく便数を増やすとか、高齢者が行きやすいようにして頂けたら、和泉中央にお客さんが行くので和泉市が潤ってくると思う。光明池に言ったら堺市なので。

堺市に行くのには堺市の人には 100 円でどこでも行けるが、私らは正規の 230 円で乗っていく。

市民： 路線の関係で青葉台とかとは違う。だから光明池をもっと優先してもらえたらいい。南海バスの路線バスを堺市と同じように 100 円で乗れるように市が考えてほしい。

市長： 光明台に何うと、いつもご要望頂いて、どれほど地域の方がそれを望まれていると、ひしひしと感じる。タクシーなどのアイデアもいただいている。いいプランがあれば考えたい。